

## 熊本ゴールデンラークス 代表都市を合志市に変更

12月19日、社会人野球チーム熊本ゴールデンラークスの田中敏弘監督が市長を表敬訪問しました。

これは同チームが名称を変更したこと、これまで熊本市としていた代表都市を練習場や選手寮のある合志市に移したことを報告に訪れたものです。田中監督は「チームを変革してさらに成長を目指したい。市と連携して、野球を通じた市民の健康づくりなど地域貢献もしていきたい」と話しました。



新しいユニフォームには市のロゴが入る予定です

## 地方自治の発展に大きく寄与 特別叙勲を受章

12月12日、元合志町議会議員の故・上嶋吉輝さん(上庄)のご家族に勲記・勲章の伝達を行ないました。

上嶋さんは昭和53年3月に合志町議会に初当選し、3期12年の長きにわたり在職しました。その間、副議長をはじめ経済建設常任委員会副委員長など要職を歴任。議員活動などを通じて地方自治に大きく貢献した功績が認められ、特別叙勲として旭日単光章が授与されました。



左から荒木市長、上嶋さんの妻・チズ子さん、子・克浩さん

## いざというときに備えて 平成30年度防災士養成講座

12月1日、2日、9日の3日間、菊陽町図書館で防災士養成講座が開催されました。

平成28年度から合志市、菊池市、菊陽町合同で開催され、本市からは43人が受講。講座では、地震・風水害対策や避難所運営ゲーム、災害図上訓練(D I G)などが行なわれ、受講者からは「地域活動に生かせる知識を学ぶことができたので活用していきたい」といった感想がありました。



防災士は各地区で防災リーダーとして活躍します

## 踊りと歌の祭典 笑ってはいよ 来てはいよ

11月25日、ユーパレス弁天で「笑ってはいよ来てはいよ」が開催されました。

これは、市民の人たちの楽しみと交流の場になるようにと林悦美さん(上須屋)が企画。当日は子どもから大人まで幅広い年齢層の有志の皆さんが歌や舞踊、ダンスを披露した他、肥後にわかんの演劇も行なわれました。観覧者も出演者と一緒に踊ったり手拍子を打ったりして会場一体となって盛り上がりました。



子どもたちの元気なダンス

## 新年も明るく健康に 市民健康カントリーマラソン大会

1月12日、農業公園カントリーパークで第13回合志市民健康カントリーマラソン大会を開催しました。当日の朝はあいにくの雨でしたが13部門に延べ435人が参加。真冬の空の下、幅広い年齢層のランナーが爽やかな汗を流しました。

沿道からは暖かい拍手や声援が送られる中、参加者たちは1.5km～6kmのコースを仲間と競い合ったり励まし合ったりしながらゴールへ向けて快走。思い思いに楽しんで走り抜けました。ファミリーの部では、親子で手をつないでゴールをするほほ笑ましい場面も見られました。ゴール後は市商工会からあつあつのいも天、熊本酪農業協同組合から牛乳が振る舞われ、参加者はおいしそうに味わい、疲れた体を癒しました。

閉会后、恒例のお楽しみ抽選会では抽選番号が読み上げられるたびに、会場の子どもたちから大きな歓声が上がっていました。

○入賞者

種目		1位	2位	3位
小学校低学年	男子	岡本 拓磨	溝辺 煌心	野村 光宏
	女子	寺本 せな	原 華凜	森 愛絆羽
ファミリー	男子	森 一樹	中里 宏	高木 雄一
	女子	森 龍一翔	中里 悠希	高木 琳温
小学校高学年	男子	榎山 一颯	廣野 達徳	永田 湊
	女子	日置 滯	小西 咲輝	藤本 統子
中学生	男子	川上 颯真	犬童 慧真	楠岡 由浩
	女子	西野 希咲	野田 結莉	中村 心香
高校生以上	男子	濱口 尚輝	吉田 嵐	森 一樹
	女子	嶋村 彩	福原 里紗	佐藤 皓子
40歳以上	男子	艶島 真	楠本 令兒	前田 智政
	女子	楠本 直子	大久保みどり	丹羽美智子
一般	男子	東 尚樹	中山 潤哉	松本 英治
	女子	高木 直子		



①選手宣誓をした合志中学校陸上部 河崎 瑤平さん  
②元気いっぱい小学生高学年男子の部  
③笑顔でゴール

## 木の温かさと優しさに触れる ふれあい木のおもちゃフェスティバル

12月9日、御代志市民センターで中央コミュニティ運営委員会主催のふれあい木のおもちゃフェスティバルが行なわれ、1,600人を超える親子が木のおもちゃを集めた広場で楽しく遊びました。東京おもちゃ美術館多田千尋館長や熊本大学教育学部田口浩継教授による講演会、木工体験、木育ワークショップ、おもちゃ作家の作品展、木のおもちゃ販売など、木の優しさに包まれた木育づくりの1日となりました。



木のおもちゃに夢中になる子どもたち

## 認知症への正しい理解を ささえ愛ネットワーク模擬訓練 2018

12月2日、野々島コミュニティで「ささえ愛ネットワーク模擬訓練2018」を開催しました。これは認知症の正しい理解と見守りに必要な地域のつながりを実感してもらうことを目的としたものです。

当日は、多くの地域の皆さんが徘徊者と見立てた役の人への声掛け訓練に参加。参加者からは「他人事ではなく身近な問題だと思えた」「地域による協力が必要であることが分かった」との声が上がりました。



徘徊者役の人への声掛けの様子